

フロンティア事業助成事業 実績報告

団体名	特定非営利法人 淡路島アートセンター	代表者名	理事長 久保 拓也
事業名	五斗長ウォーキングミュージアム (GWM) 事業		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
7月～8月	<p>地域住民と関係団体との交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域住民と関係団体との交流促進 <ul style="list-style-type: none"> ・7月28日 「ひまわり祭り」に参加 ・8月3日 淡路市五斗長地区の山の神の祠を奉る行事に参加 (2) 五斗長地域住民へ招致アーティストの紹介、及びヒアリング（事業説明） (3) 五斗長ウォーキングミュージアム案内ツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・8月6日：新潟県燕市市議会視察 6名 ・8月8日：鳥取県西部県民センター視察 4名 ・8月13日：東北芸工大見学 8名
9月	島内作家による制作/設置準備
10月～11月	<p>海外アーティスト来日制作/公開イベント（地域住民との交流）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/22～11/2：クラウド・ダオヴェン来日・作品制作
11月～3月	<p>五斗長ウォーキングミュージアム作品お披露目会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「五斗長ウォーキングミュージアム」への一般見学者への対応 ・記録映像（五斗長ウォーキングミュージアムプロモーション映像）の編集（撮影は年間を通して行った。） ・3月1日：五斗長ウォーキングミュージアム作品お披露目会

効果と成果

本事業は、雑誌や新聞などで取り上げられる機会も多くなり、島内外問わず多くの方からの問合せが着実に増えていることから、幅広く「五斗長ウォーキングミュージアム」について周知されてきていると実感している。

また、一点一点作品が作られるごとにこの事業がどういうものなのか、地域の方や他一般の方々にも理解され、作品に対する愛着も生まれてきていることから、今後地域交流、地域活性化に繋がっていくものと期待しています。

私たちはこのプロジェクトを長期的な事業と考えており、今回の淡路市五斗長地区だけでなく、今後は長澤・生田の近隣地域などにも事業拡大し、森の中の古刹である常隆寺を散策コースとして活用し、地域活性化を図る事業ができないか検討中であります。

これは、五斗長地区住民からの要望でもあるので、是非とも実現させたいと考えております。

収支決算書

(収 入)

項 目	金額 (円)
フロンティア事業助成金	1,000,000
公益財団法人福武財団	1,000,000
自己資金	727,037
合 計	2,727,037

(支 出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直 接 経 費	謝金および制作費	1,005,541	650,000
	機材レンタル	14,175	14,175
	印刷・DVD制作費	300,000	300,000
	旅費交通費	366,678	110,982
	広報宣伝費	100,000	0
	その他経費	700,643	0
	小 計	2,487,037	1,075,157
	間接経費 (一般管理費)	240,000	240,000
	合 計	2,727,037	1,315,157